

「第9回若手の集いを終えて」

赤松 憲樹*

2009年6月4, 5日の日程で東京大学山上会館にて開催された日本海水学会第60年会に先立ち、6月3日18時より日本海水学会若手会主催の第9回若手の集いが、同じく東京大学山上会館にて開催された。本年度の若手の集いは、年会の前日に開催することにより、研究者同士の事前交流を促進し、年会における活発なディスカッションを実現し、さらにはこれ以降の研究者同士のつながりを提供する場として企画したものであった。

若手の集いは若手会代表幹事の市村重俊氏（神奈川工科大学）に乾杯の御発声をいただき幕を開けた。学生さんも含めて、産・官・学の幅広い分野からの参加者に恵まれ、会の目的は達せられたのではないかと思う。会の終盤には、若手の集いの隣の部屋で開催されていた評議員会懇親会を終えられた先生方にもご参加いただき、さらに会は盛り上がった。幸運なことに、日頃から若手会を支えていただいている中尾真一先生（工学院大学）、尾上薫先生（千葉工業大学）からお言葉を頂戴できた。お二人の先生からは、若手の活動力が学会を動かすことになるとの激励をいただき、また若手会の活動を全力でバックアップしていただけるとの有難いお言葉をいただいた。最後に、次期若手の集い実行委員長である石川匡子氏（秋田県立大学）よりご挨拶をいただいた。現在、見学会などの企画をご検討中とのことで、第10回という記念大会となる次期若手の集いも充実した会となることが期待される。会は大盛況のうちに幕を閉じた。

昨年度の若手の集いではハウステンボスにおける講演会と見学会が行われたのに対し、本年度は特段の企画を設けなかったため参加者減が心配されたが、最終的には32名のご参加をいただいた。また、当日は会場の1つ上のフロアで大規模なパーティーが開かれており、会場周辺は厳戒態勢が敷かれていたため実行委員会としては不安もあったが、特に何事もなく会が進行できた。

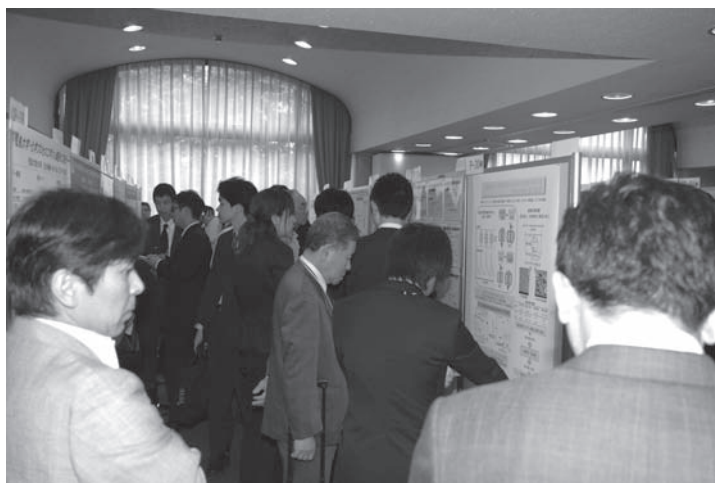


若手の集い

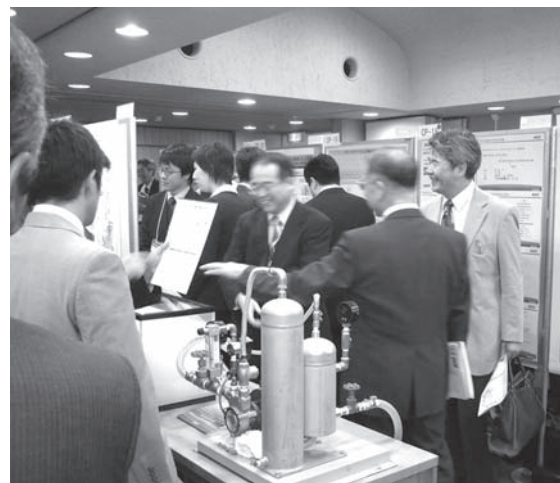
* 東京大学 大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 (〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1)
TEL & FAX : 03-5841-7300, E-mail : akamatsu@chemsys.t.u-tokyo.ac.jp

本年度の年会での若手会の活動として、1つ新しい試みを企画・実施したので、これに関しても本稿で併せて報告する。

若手会では、第60年会実行委員会との共催で、年会におけるポスターセッションを一層活発なものとするための特別企画を実施した。これは、従来の学術研究に関するポスター発表に加えて、参加者の交流を目的とするポスター発表セッションを設けたものである。このセッションは通常の学術研究セッションと区別し、技術交流セッションとした。技術交流セッションでは、発表内容や発表分野に全く制限を設けず、「開発した、あるいは保有する装置、機器の紹介」、「既に発表した研究・開発の概要紹介」、「大学研究室・企業等の紹介」など、34件の発表が行われた。また小型の機器等を持ち込んだデモンストレーション形式も可としたセッションであったので、そのような発表も数件見受けられた。学術研究セッションと併せて1時間45分の発表時間を設けたが、ポスター発表会場はその間常に活発なディスカッションが行われており、技術交流セッションポスター発表は大成功だったといえる。参加者の方からも「良い企画ですね」とお褒めの言葉をいただき、実行委員としても嬉しい限りであった。



技術交流



技術交流

末筆ながら、第9回若手の集いの企画・運営にあたっては、市村重俊氏（神奈川工科大学）、正岡功士氏（海水総合研究所）、松本真和氏（千葉工業大学）に多くの御助言をいただいた。ポスター発表での技術交流セッションの企画・運営は、市村氏、正岡氏、松本氏によるものである。また紙面の都合でお1人ずつのお名前を挙げることはできないが、多くの皆様からの御助言・御指導のお陰で、会を成功させることができた。ここに記して謝意を表す。

本若手会は今後もますます充実した活動を行っていく予定であり、皆様の変わらぬ御指導・ご支援をお願いする次第である。